

そうだったの!?

言葉や国語について考えるこの欄は、
文化庁の「国語に関する世論調査」などを参考にしている。

破天荒

古くは勝新太郎（映画俳優）、横山ノック（漫才）らを称する紙面・画面などで破天荒という表現を散見した。学生には時代が合わないかもしれないが。

2人とも自説が通らないと周囲と派手に衝突するタイプ。演技や舞台はともに天才的だったから、周囲は接し方に随分気を遣ったという。

この破天荒は、マイナスイメージの言葉ではなく、褒め言葉である。

「前人のなしえなかったことを

初めてすること。前代未聞、未曾有」（大辞泉）「天荒＝天と地がまだ分かれていない混沌の状態＝をはじめて破る意から」（ベネッセ表現読解国語辞典）

というわけで誤用が生まれる。本来の意味を表現するなら、イチローや松井秀喜（大リーグ）らがふさ

わしい。数々の打撃成績を塗り替える打者にこそ「破天荒」の見出しが合う。

